



知基第276号
令和2年1月28日

外務省特命全権大使（沖縄担当）
川村 裕 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



沖縄本島東沖における米海軍MH-60ヘリコプターの事故 について（抗議）

令和2年1月25日午後4時24分頃、米海軍艦艇ブルーリッジ所属のMH-60ヘリコプターが沖縄本島東の約180kmの公海上に不時着水したとの報告がありました。

今回の事故について、その状況や原因など詳細は未だ明らかになっていないものの、同ヘリコプターが艦艇まで戻ることができなかったことは、実質的に墜落と変わらない状況であると考えております。

事故が起こった地点は沖縄本島と南北大東島を結ぶ航路に近接しており、一步間違えば、漁船や民間船舶等への被害につながりかねず、大変遺憾であります。

また、沖縄周辺において、在沖米軍所属機だけでなく、他の部隊に所属する米軍機による事故が度々発生していることは、県民に大きな不安を与えております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、徹底した原因究明と詳細な説明及び実行性のある再発防止策を講じるとともに、より一層、安全管理の徹底等に万全を期すこと、また、安全が確認されるまでの間、県内における同型機の運用を停止することを米軍に対し働きかけるよう強く要請します。